

へビも、へ〜びっくり！

清宮大
田中優衣
山本翔平

目次

- 新聞記事
- 記事要約
- 現状分析
- 問題意識
- 政策提言

新聞記事

2015年2月7日朝日新聞朝刊

(記者報告) 「外来ヘビ預かって」絶えぬ依頼 太田の研究機関スネークセンター / 群馬県

太田市にあるヘビ専門の研究機関「ジャパンスネークセンター」には、全国の警察などから、在来種のヘビだけでなく、捨てられたり逃げたりして保護される外来種の預かりを求める依頼が絶えない。背景にはペット用のヘビが外国から大量に輸入され、気軽に飼えるようになっている状況があるようだ。

ジャパンスネークセンターは一般財団法人で、正式名称は「日本蛇族学術研究所」だ。太田市藪塚町の約2万5千平方メートルの敷地に研修センターや採毒室、大蛇温室、五つの野外飼育場などがあり、約80種類のヘビ計約1万匹を飼っている。生態を研究し、展示もするかたわら、毒ヘビの抗毒素(血清)を作るための毒の採取もしている。

ヘビ専門の研究施設として有名なだけに、センターには全国の警察や自治体から爬虫(はちゅう)類の「保管」依頼が次々舞い込む。ヘビはもちろん、カメやイグアナ、カメレオンなど冬場を除いて毎月数件ペースで依頼が来る。年ごとに差はあるが、外来種のヘビは年に数件から10件程度だという。

昨年2月、大阪市で特定動物の大型ヘビを無許可で飼育した疑いで男性会社員が書類送検された。その事件で押収されたヘビのうち、ボアコンストリクター9匹をセンターが預かり、飼育している。

さらに、捨てられたり逃げだしたりして屋外で発見され、「拾得物」として警察などに届けられたヘビも届く。研究員の三保尚志さん(38)は「大半の人たちはきちんと飼育しているが、中には安易な気持ちで無計画にヘビを飼い始める人もいる」と指摘する。その結果、もてあまして捨てたり管理が甘くて逃げ出したりすることがある、という見方だ。

12年には、小さなケージに入った5匹のコーンスネークが東京都新宿区のごみステーションに捨てられているのが見つかり、警視庁戸塚署が保護した。昨年8月には東京都西東京市で大型のカーペットニシキヘビが発見された。ともにペットだったとみられ、センターに送られてきた。

センターには、ヘビをペットとして飼う人たちからの問い合わせの電話もひっきりなしに入る。「餌は何をあげればいいのか」「餌を食べなくなった。どうすればいいか」。そんな基本的な質問が多いという。

絶滅のおそれのある生物や、生態系や人に悪影響を及ぼす特定外来生物は飼育に許可が必要となる。飼育許可が要らない場合でも、ペットを捨てることは動物愛護法で禁じられており、100万円以下の罰金が定められている。三保さんは「法律の内容を理解し、迷惑をかける行為はやめてほしい。飼うなら、計画性を持ち、最後まで責任を持って飼ってほしい」と話す。

こう訴えるのは生態系への影響を危惧するからだ。沖縄では台湾ハブと在来のハブとの交配が指摘されている。グアムでも外来種の大型ヘビ・ミナミオオガシラが侵入し、希少な鳥を絶滅させるなどしたという。

温暖な地域の原産で日本の冬を越せない外来種がいる一方で、日本に近い気候の地域から輸入されているヘビもいる。三保さんは冬場も冬眠するなどして帰化する可能性も排除できないとみており、「どういう影響があるかわからない。人間の想像を超える影響も考えられる」と話す。

記事要約

- ジャパンスネークセンターは捨てられたり逃げられたりした外来種のヘビを預かり、飼育している
- ペットを捨てることは動物愛護法で禁止され、100万円以下の罰金を課されるが、捨てる人は後を絶たない
- 外来種が帰化することによる生態系への影響が懸念される

現状分析

へびについて

概要・・・

爬虫綱有鱗目へび亜目に分類される爬虫類の総称

南極大陸をのぞく全大陸に分布

世界で3000種類ほどいるへびのうち、25%が毒蛇

生息・・・森林、草原、砂漠、川、海等

食性・・・シロアリ、ミミズ、カタツムリ、カエル、
ネズミ、魚、鳥類

へびは古来から世界的に信仰の対象であった



(C)Shibata Tetsuyuki

ヘビについて

ヘビの種類

＜日本本土に生息するヘビ＞
4科19属39種（14亜種）
レッドリスト登録 28種

＜特定外来生物＞
2科3属7種
ミナミオオガシラ、マングローブヘビ、タイワンスジオ、
タイワンハブ等



<http://outdoor.ymnex.com/inform-01.html>

へびの飼育

へび飼育の魅力

- 飼育管理がしやすい（鳴かない、糞尿処理が楽）
- 動物特有のにおいがほとんどない
- 餌代が安い
- ペットとして流通するへびは性格はおだやかでおとなしい

ペットとしてへび
を飼う人が増えて
いる！

ヘビの飼育

ペットに人気のヘビ

◇コーンスネーク

◇カリフォルニアキングスネーク

◇ボールパイソン

おとなしく、初心者向け

◇ミナミオオガシラ

◇カーペットニシキヘビ

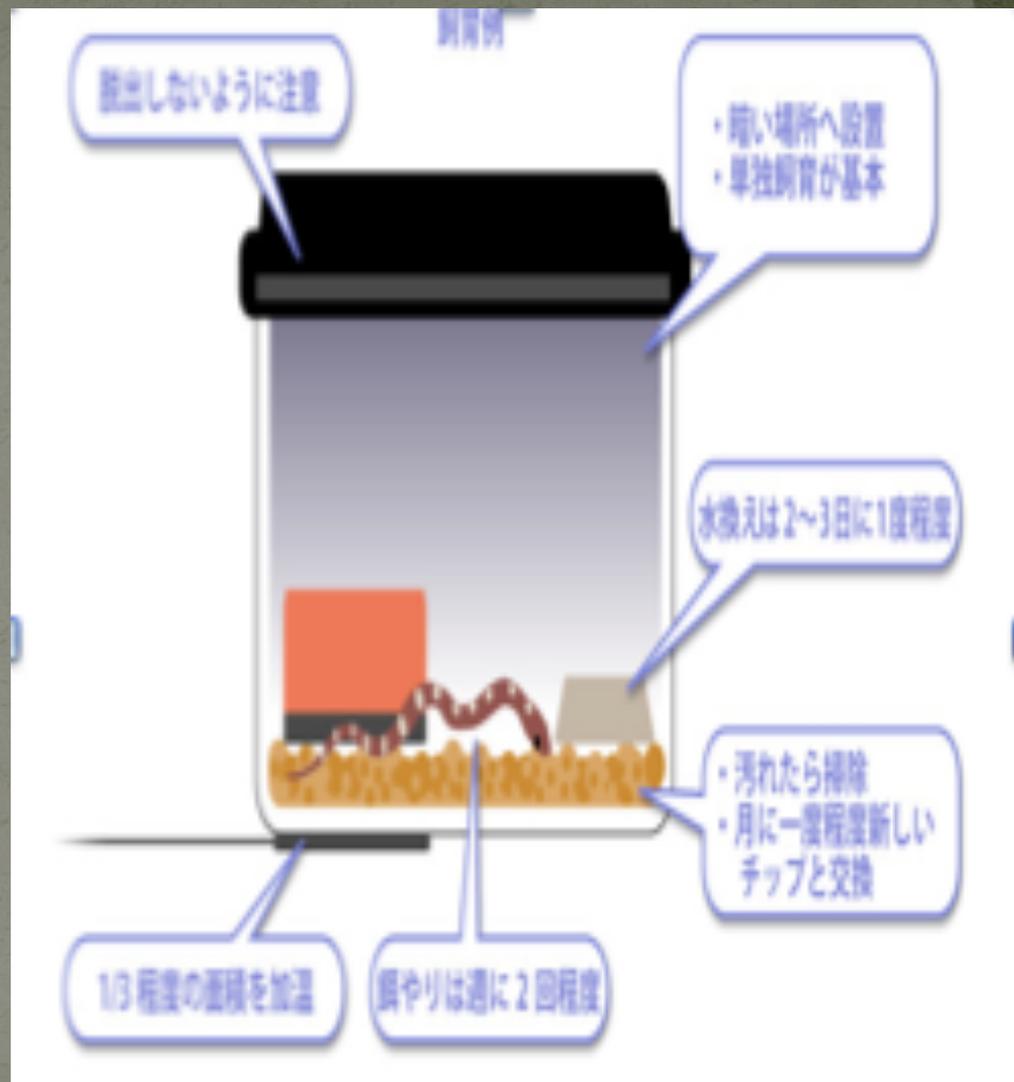
大型、特定外来生物に登録される
ものもマニアに人気



へビの飼育

飼い方

- ✓ 蓋付き
- ✓ 餌やりは週1～2回
- ✓ 体長の2/3以上の大きさのケージで
- ✓ 適温22～23度



http://www.shopping-charm.jp/userarea/docs/cutesnake1028_rs.html

へびの飼育規制

「動物の愛護及び管理にかんする法律（動物愛護法）」

2006年6月改訂

毒蛇を無許可で飼育することを禁ずる

飼育には自治体への届け出が必要

放棄した場合、100万円以下の罰金が課せられる！



しかし

闇取引が行われ、

無許可で飼われているケースも少なくない

規制をしたものの・・・

愛着が湧かずに飼育を放棄して捨てられてしまうヘビが多くなっている

※ジャパンスネークセンターへの保護以来（年に10件程度）

さらに、ヘビが脱走するケースも多い



外来種ヘビが帰化して生態系に悪影響を及ぼす可能性が懸念される

実際に . . .

- グアムでオーストラリア原産のミナミオオガシラという外来種が持ち込まれ、在来の鳥が絶滅させられてしまった
- 日本でも特定外来生物に指定



問題意識

問題意識

①費用・スペースなどの面で飼いやすく、“気軽に”飼えてしまう

②外来種としらずに自然に放してしまう

③飼い主が特定できず、罰則が課せられない



生態系被害、人体への被害の恐れ、捕獲費用の増大

政策提言

政策提言

① 飼育されているヘビにマイクロチップの埋め込み必須化

②費用（マイクロチップ代金＋人件費）を価格に上乗せ

③ペット購入時に説明と注意をする

政策提言 ①マイクロチップの必須化

ペットの購入契約時に飼い主の個人情報（住所、電話番号など）を登録



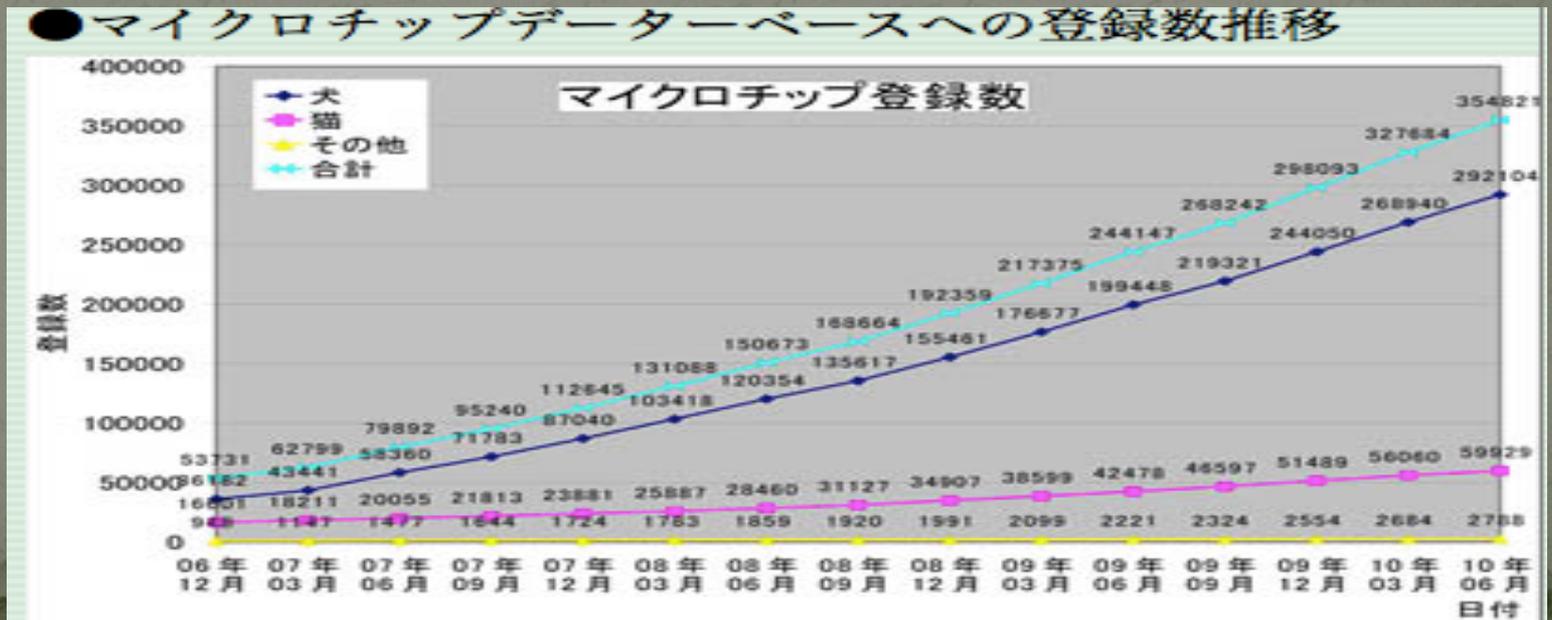
ペットショップがペットを一時預かり、マイクロチップの埋め込み手续をする



飼い主がペットを受け取る

マイクロチップとは・・・？

- 首元に装着するペットの身分証明書のこと。飼い主の情報が記録されている
- ヨーロッパではマイクロチップを義務化している国が増えているが、日本では近年増えているものの5%未満にとどまる（犬・猫）



マイクロチップ装着のメリット・デメリット

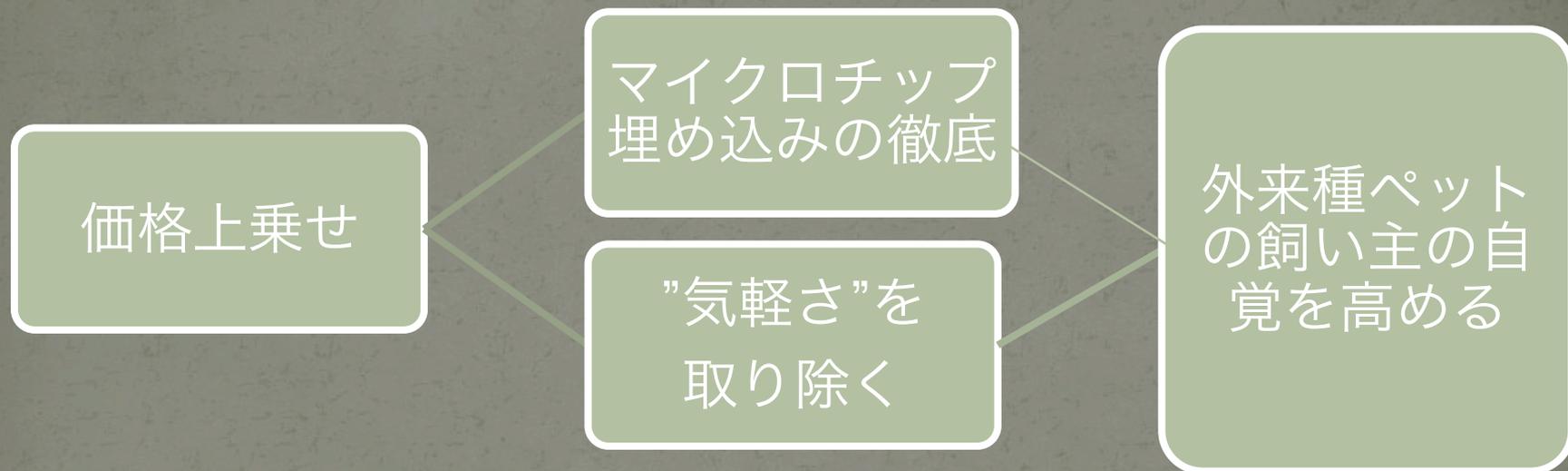
メリット

- 迷子や逃亡した先で保健所などに収容された場合、飼い主に連絡してくれる
- 確実に自分のペットだという証明ができる

デメリット

- 手術の際に少なからず痛み（痛みなしとの情報もあり）
 - 麻酔などの費用が余計にかかる可能性
- 専用のマイクロチップリーダーがないと識別できない

政策提言 ②諸費用を価格に上乗せ



政策にかかる費用（参考）

- マイクロチップ装着費用 3000円～5000円
- 登録料 約1000円
- 麻酔代（任意） 5000円～1万円

10000円以上の負担増となる可能性
ヘビの価格は安いもので5000円ほど、高いものでは100000円以上

政策提言

①マイク
チップ埋め
込みを
ショップが
引き受ける

②価格
上乘せ

③購入時の
注意・説明

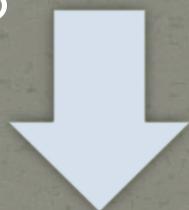
マイク
ロチップ埋め
込みの
徹底

”気軽さ”を
取り除く

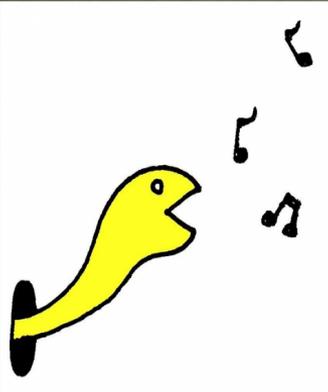
外来種ペッ
トの飼い主
の自覚を高
める

政策のメリット

- 値段が上がることで安易に飼い始める人が減る
- マイクロチップで飼いの識別が可能になるため、飼育放棄を防止できる



野生に外来種ヘビが帰化するのを防ぐことができる！



参考文献

http://www.shopping-charm.jp/userarea/docs/cutesnake1028_rs.html

チャーム ペット・ガーデニング・インテリア雑貨の専門店

<http://nichiju.lin.gr.jp>

日本獣医師会

<http://zoo.zool.kyoto-u.ac.jp/herp/indexj.html>

日本爬虫両棲類学会

<http://snake-center.com/>

財団法人 日本蛇族学術研究所

<http://chaichai.campur.com/indoizatugaku/naga01.html>

インド旅の雑学ノート ナーガ（1）

<http://www.hatyu.info/minamioogashira.php>

爬虫類図鑑

<https://www.env.go.jp/nature/intro/3breed/microchip.html>

外来生物法

<http://www.bioplus.jp/index.php?マイクロチップとは>